



平成 21 年 7 月 3 日

各 位

日 本 出 版 貿 易 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 大 野 利 夫
(J A S D A Q ・ コ ー ド 8 0 7 2)
問 合 せ 先
取 締 役 事 業 管 理 部 本 部 長 天 内 健 一
電 話 番 号 0 3 - 3 2 9 2 - 3 7 5 1

第三者割当による新株式発行、主要株主である筆頭株主の異動
及び「その他の関係会社」の異動に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、第三者割当により発行される株式の募集について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、当該新株式の発行により当社の主要株主である筆頭株主の異動及び「その他の関係会社」（当社が他の関連会社である場合における当該他の会社）の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

I. 第三者割当による新株式発行
発行要領

(1) 発行新株式数	普通株式 1,000,000 株
(2) 発行価額	1 株につき 金 260 円
(3) 発行価額の総額	260,000,000 円
(4) 資本組入額	1 株につき 金 130 円
(5) 資本組入額の総額	130,000,000 円
(6) 割当方法	第三者割当による
(7) 申込期日	平成 21 年 7 月 17 日(金)
(8) 払込期日	平成 21 年 7 月 21 日(火)
(9) 割当先及び割当株式数	株式会社トーハン 1,000,000 株
(10) 前記各号については	金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

以 上

【ご参考】

現在の発行済株式総数	6,000,000 株	(平成 21 年 7 月 3 日現在)
(現在の資本金の額)	300,000,000 円)	
今回の増加株式数	1,000,000 株	
(増加する資本金の額)	130,000,000 円)	
増資後発行済株式総数	7,000,000 株	
(増加後資本金)	430,000,000 円)	

1. 募集の目的及び理由

昭和17年1月に和書及び雑貨品の輸出を目的に創業した当社は、昭和24年からは洋書の輸入販売を開始し、以来、半世紀以上にわたって日本の伝統的な文化を伝えること及び海外の文化を日本に伝えることを使命とする異色の企業として着実に歩んでまいりました。また、平成20年4月からは全員参画のもと「私たちは文化産業を通じて国際社会に貢献します」という新たな経営理念を制定し、この経営理念を合言葉として、世界中の人々の物心両面の幸福を求めると同時に、人類、社会の発展に貢献することを社命として、社員、経営陣一丸となって事業に邁進しております。

しかしながら、米国のサブプライム住宅ローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱により、昨年9月以降は急激な円高を招くなど、貿易を主業務とする当社にとって厳しい環境となりました。

このような厳しい営業環境のなかで、当社としては、企業価値向上のために収益性の向上とキャッシュ・フローの改善に取り組んでまいりましたが、今後の収益構造を確固たるものとするためには、近年世界的に売上が伸びている日本語教材の販路を中国、韓国等を中心とする市場へ拡大するなど新規分野の拡充と財務体質の強化を進めることが不可欠であると考えております。

現状、金融市場の悪化により資金調達環境が不安定な状況になっている中で、当社は、安定した事業運営のための自己資金の充実及び財務の健全性の維持強化を図るとともに、将来の成長の布石となる事業資金を確保することが喫緊の課題であるとして、資金調達を検討するに至りました。

また、当社では、少数株主の皆様にも不利益とならないよう、様々な資本増強手段を検討してまいりましたが、現在の資本市場の状況を勘案いたしますと、当社が公募増資等の手段によって資本市場から資金調達を行うことは困難であると判断せざるを得ず、株式会社トーハン（以下トーハン）を割当先とする第三者割当の方法による新株式の発行を選択いたしました。トーハンは当社が事業拡大を目指すアジアでの販路を有し、また、当社の最大の仕入先かつ当社第4位（募集前）の大株主として当社の事業について深くご理解いただいているため、同社へ協力を依頼することが最善であると判断し、割当先として選定するとともに同社との間で資本・業務提携を行うことといたしました。本資本・業務提携を通じてトーハンとの関係をさらに強化することにより、今後、当社としては、トーハンとの物流の協業化による大幅なコスト削減及び販売機会の拡大等のシナジーを見込んでおります。また洋書の物流拠点につきましてもお互いに協力して構築していくことになっておりますので、中長期的に「当社の競争力の強化と企業価値の向上」に資すると判断しております。

なお、トーハンとの資本・業務提携の詳細につきましては、別途開示しております「株式会社トーハンとの資本・業務提携に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 調達する資金の額及び使途

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

257,000,000 円

(2) 調達する資金の具体的な使途

トーハンとの協業で行う洋書事業における物流業務改善に係る初期費用、コンピューターシステム開発費用及び売上拡大のための運転資金として1億5千万円、同じくトーハンとの協業を予定している国内外での翻訳出版事業に係る市場調査・出版権利取得・著作権使用に関する手数料等の運転資金として4千万円、さらに出版物事業における中国、韓国等を中心とする海外市場の拡販など新規分野の拡充のための市場調査等の費用として6千7百万円を充当する予定です。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成21年7月末日以降を予定しています。

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

今回調達する資金は、洋書事業部門での国内における販売と収益の両面から確固たる基盤を整備するため充当する予定です。また新規に版權ビジネスへ参入しトーハンの協力の下、新たな収益源にするための運転資金に、さらに海外事業では欧米地域と比べ販売拠点網が脆弱な中国、韓国等の地域での販売の体制見直しと強化に充当する予定です。これらの事業の拡大及び立ち上げは、今後

の当社の収益に大きく寄与するもので本件資金使途は当社にとって合理的なものと考えております。

3. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

事業年度の末日	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	9,862	9,096	8,413
営業利益	△23	165	36
経常利益	△49	82	△4
当期純利益	△49	70	13
1株当たり当期純利益(円)	△8.23	11.83	2.19
1株当たり配当金(円)	—	—	—
1株当たり純資産(円)	159.76	141.72	125.02

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	6,000,000株	100%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

発行期日	平成21年7月21日
当該増資による発行株式数	1,000,000株
調達資金の額	260,000,000円(発行価額260円)
募集時における発行済株式数	6,000,000株
募集後における発行済株式数	7,000,000株
当初の資金使途	物流拠点の構築費用及び運転資金等
割当先	株式会社トーハン

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

(5) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
始 値	225円	207円	203円
高 値	460円	218円	294円
安 値	185円	152円	190円
終 値	200円	180円	270円

② 最近 6 ヶ月間の状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
始 値	270 円	273 円	265 円	265 円	270 円	284 円
高 値	285 円	273 円	270 円	275 円	285 円	300 円
安 値	260 円	200 円	260 円	265 円	270 円	272 円
終 値	278 円	264 円	270 円	275 円	285 円	298 円

③ 発行決議日の直前日における株価

平成 21 年 7 月 2 日	
始 値	285 円
高 値	289 円
安 値	285 円
終 値	289 円

4. 募集後の大株主及び持株比率

(単位：%)

募集前(平成 21 年 7 月 3 日現在)		募集後	
中林 三十三	17.4	株式会社トーハン	21.4
丸善株式会社	11.7	中林 三十三	14.9
株式会社講談社	9.2	丸善株式会社	10.0
株式会社トーハン	8.3	株式会社講談社	7.9
株式会社りそな銀行	4.9	株式会社りそな銀行	4.2
株式会社三井住友銀行	4.0	株式会社三井住友銀行	3.4
ファーストインバスターズ株式会社	3.2	ファーストインバスターズ株式会社	2.8
日本証券金融株式会社	3.0	日本証券金融株式会社	2.6
小島 幸雄	1.5	小島 幸雄	1.3
綾森 素子	1.3	綾森 素子	1.1

(注)平成 21 年 3 月 31 日現在の株主名簿に記載または記録された状況から、本日現在までに大量保有報告書等による異動確認等において当社が確認している状況に、当該募集により新たに交付予定の新株式数を反映いたしております。

5. 業績への影響の見通し

今回の第三者割当増資による当社の平成 22 年 3 月期の連結業績及び単独業績への影響は、軽微であります。中長期的には収益に大きく貢献するものと考えております。

6. 発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠

発行価額は、当社株価の変動を平準化するため、当該増資に係る取締役会の直前日から遡る 3 ヶ月(平成 21 年 4 月 3 日から平成 21 年 7 月 2 日)の株式会社ジャスダック証券取引所が公表した当社普通株式の普通取引の最終価格の平均値(283 円)を参考として、割当先における中長期的な協力関係を確認していることを考慮しつつ、割当先と協議のうえ、260 円(ディスカウント率 8%)といたしました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した理由

今回の第三者割当による新株式の発行において、発行規模は発行済株式総数の 16.7%であり、本件資金調達により既存株式に対する希薄化が生じ、一定の影響を及ぼすものではございますが、今回の第三者割当により発行される株式の調達資金は、当社の新規事業の拡大及び物流拠点の構築を含む運転資金等に充当され、財務体質の向上並びに事業の安定的な運営が、今後の当社の競争力強化と企業価値の向上に資するものであることから、今回の発行数量は合理的な規模の発行であると判断いたしております。

7. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

① 商号	株式会社トーハン		
② 事業内容	(1) 書籍・雑誌・教科書等出版物の販売と販売企画 (2) 教育情報関連商品、音楽関連用品等の販売と販売企画 (3) 情報処理、情報通信、情報提供及びコンピュータ機器の販売とその企画		
③ 設立年月日	昭和 24 年 9 月 19 日		
④ 本店所在地	東京都新宿区東五軒町 6 番 24 号		
⑤ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山崎 厚男		
⑥ 資本金の額	4,500 百万円		
⑦ 発行済株式数	70,500,000 株		
⑧ 純資産	89,600 百万円		
⑨ 総資産	336,352 百万円		
⑩ 事業年度の末日	3 月 31 日		
⑪ 従業員数	1,879 名		
⑫ 主要取引先	紀伊國屋書店、丸善、文教堂書店、くまざわ書店		
⑬ 大株主及び持株比率	株式会社講談社 5.2 % 株式会社小学館 5.1 % トーハン従業員持株会 4.3 % 株式会社文藝春秋 2.8 % 株式会社旺文社 2.7 %		
⑭ 主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行		
⑮ 当社との関係	資本関係	当社株式 500,000 株を保有しております。	
	取引関係	出版物の仕入れ及び販売を行っております。	
	人的関係	平成 21 年 6 月 25 日付で常務取締役 1 名及び非常勤監査役 1 名が派遣されております。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑯ 最近 3 年間の業績	(単位：百万円)		
事業年度の末日	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期
売上高	641,396	618,968	574,826
営業利益	11,698	7,766	8,019
経常利益	6,000	3,053	4,109
当期純利益	2,975	1,174	1,021
1 株当たり当期純利益(円)	42.20	16.66	14.49
1 株当たり配当金(円)	6	6	9
1 株当たり純資産(円)	1,260.83	1,260.90	1,273.54

(2) 割当先を選定した理由

当社は、増資の割当先を選定するに当たって、資金面のみならず、事業上のシナジーが見込めるパートナーであることが必要との認識を持ち、かかる目的を達しうるパートナーを模索してまいりましたが2ページの募集の目的及び理由に記載したように株式会社トーハンを割当先として選定いたしました。

また、本第三者割当増資への払込に関して、トーハンでは自己資金を以ってこれに充てるとのことですが、トーハンの財務内容及び当社との長年に亘る取引関係における信用力に鑑み、今回の増資の払込に関しても確実性があると判断しております。

なお、トーハンからは、同社が反社会的勢力との取引関係及び資本関係等を一切有しておらず、かつ、将来においても同関係を有しない旨の書面を受領しております。当社としてもトーハンの業界内での地位・経歴や風評等から、トーハンと上述の勢力との関係は一切ないものと判断しております。

以上を勘案し、当社はトーハンが本第三者割当増資の割当先として妥当であるとの判断に至りました。

(3) 割当先の保有方針

当社はトーハンとの間において、割当新株式について、継続保有に関する取り決めはありませんが、中長期的視点で協力関係を構築いただけることを確認しております。

また、割当新株式効力発生日(平成21年7月21日)より2年間において、当該新株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告することの内諾を受けております。

(4) その他重要な契約等

該当事項はありません。

II. 主要株主である筆頭株主の異動及び「その他の関係会社」の異動

1. 異動の経緯

本件第三者割当増資により発行済株式総数が増加し、トーハンが保有する当社議決権所有割合が21.6%となる一方、中林三十三氏の保有する当社議決権所有割合が15.0%となる見込みであることから、トーハンが、当社の主要株主である筆頭株主及び「その他の関係会社」(当社が他の関連会社である場合における当該他の会社)に、また中林三十三氏が筆頭株主ではなくなることが見込まれるに至ったものであります。

2. 当該株主及び「その他の関係会社」の名称等

主要株主である筆頭株主及び「その他の関係会社」となるもの

名 称：株式会社トーハン

所 在 地：東京都新宿区東五軒町6番24号

代 表：代表取締役社長 山崎 厚男

主な事業内容：(1)書籍・雑誌・教科書等出版物の販売と販売企画

(2)教育情報関連商品、音楽関連用品等の販売と販売企画

(3)情報処理、情報通信、情報提供及びコンピュータ機器の販売とその企画

筆頭株主でなくなるもの

氏 名：中 林 三十三

住 所：東京都清瀬市

3. 当該株主及び「その他の関係会社」の議決権の数及び総株主の議決権の数に対する割合

株式会社トーハン

	議決権の数	総株主の議決権の数に対する割合 *	発行済株式総数に対する割合 *	大株主順位
異動前	500個	8.4%	8.3%	第4位
異動後	1,500個	21.6%	21.4%	第1位

中林 三十三

	議決権の数	総株主の議決権の数に対する割合 *	発行済株式総数に対する割合 *	大株主順位
異動前	1,044個	17.5%	17.4%	第1位
異動後	1,044個	15.0%	14.9%	第2位

* 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 48,000株
 平成21年3月31日現在の普通株式の発行済株式総数 6,000,000株

4. 異動年月日

平成21年7月21日（予定）

5. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無

有（今回の増資により株式会社トーハンは、その他の関係会社となります。）

以 上